

## 防災対策

# 台風シーズン到来

## 台風情報の入手と事前の対策

### 【台風情報の収集】

台風が近づいたら、継続的にテレビ・ラジオなどの台風情報を収集するよう努めてください。N T T電話の177番、気象庁のホームページ、携帯電話などから最新情報が入手できます。



### 【情報の活用】

① 台風が小松島市の西側を北上する進路をとった場合、一般的に風雨が強くなります。特に、満潮時刻と重なれば、高潮が発生する恐れがあります。台風の進路・強さ・通過時刻などに注意が必要です。

② 大雨警報や洪水警報が発表されたら避難準備（体の不自由な方は避難を開始）をしてくだ

ださい。特に、夜間に台風の通過が予想される場合は、明るいうちに避難をしておくことが大切です。

### 【暴風対策】

① 窓ガラスなどは、飛来物を避けるため外側から添え板などを施したり、内側からガムテープを×印に貼ると割れた場合の飛散防止に役立ちます。

② 雨戸、壁板、トタン屋根、シャッターなどの老朽部は、そえ木やロープなどで固定しましょう。

③ テレビアンテナや立ち木など倒れる危険性があるものは、針金やロープでしっかり固定しましょう。ただし高所にあるアンテナや背の高い立ち木などの固定は、専門家の方に依頼した方がよいでしょう。

④ 看板や屋上、ベランダなどにある放置物は飛散する恐れがあるため、家の中に取り込む

などの処置をしましょう。

⑤ 暴風により電線が切れて停電が起きることもあります。懐中電灯、携帯ラジオ、飲料水や非常食などの備蓄を準備しておきましょう。



### 【大雨・洪水対策】

① 過去の台風などで浸水した地区は、雨量によっては再度浸水の可能性があります。大雨情報の事前収集に努め、早め

に家財道具や食料品、車などを高所へ移動させましょう。

また、浸水防止のため、土の積みをしておきましょう。

② 河川上流部の方や農家の方は、材木類・わら・ビニール・不

台風は、地震の突発的な発生と違い、規模や進路などがある程度予測できます。これからの台風到来シーズンを控え、「生命・身体・財産」の被害を最小限にするためにも、最新の「台風情報の入手」と、それに伴う「事前の対策」が大切です。

用になつた家具類などが洪水時に流れないよう、適切な処置をしておいてください。下流部の浸水家屋に流れ込んだり、排水ポンプの排水能力の低下を引き起こす原因になります。

③ 避難する際に冠水した道路を通らなければならぬ場合は、長い棒（さぐり棒）で足元を確認しながら歩きましょう。冠水した道路では足もとが見えにくく、道路と側溝などの境界がわからずに足を踏み外す恐れがあります。

また、長靴は水が入ると重くなり、流れに足を取られる危険があるので、避難する時は運動靴にしましょう。素足は禁物です。洪水の中を歩ける深さは、男性が約70cm、女性が約50cm（腰以下）が基準です。家族で避難する場合はお互いの体をロープなどで結んではぐれないようにしましょう。

## 10月に大規模

## 「防災訓練」を開催!



地域住民の参加による自助・共助意識の醸成や防災意識の高揚を図ることを目的に、このたび大規模な防災訓練を開催します。皆様、この機会にぜひ体験訓練などに参加してください。

### 【訓練構成および日時】

#### ◆緊急消防援助隊 近畿ブロック合同訓練 (一部訓練)

10月29日(土)  
午前8時30分から  
10月30日(日)  
午前7時30分まで

※この訓練は消防関係者のみの訓練であるため、地域住民等の参加はありません。